



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道帝国大学（１９１８年～１９４７年）の営繕工事請負について
Author(s)	池上, 重康
Citation	北海道大学大学文書館年報, 9, 1-19
Issue Date	2014-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/56504
Type	departmental bulletin paper
File Information	ARHUA9_001.pdf



< 論 文 >

北海道帝国大学（1918年～1947年）の営繕工事請負について

池上 重康

はじめに

2013年5月、東京湯島に文化庁長官官房政策課・国立近現代建築資料館が開館した。同年9月に同資料館では2013年度の委託事業として、近現代建築資料の所在状況の全国調査「我が国の近現代建築資料所在情報の概要把握と管理情報方法の提案」を実施することとし、日本建築学会建築歴史意匠委員会が受託した。筆者はこの事業の一環で行った北海道地区の建築資料所在調査を通して、札幌控訴院庁舎建築工事関係書類（以下、札幌控訴院工事書類と略）と伊藤組『組報』（以下、『組報』と略）を閲覧する機会を得、これら資料中に北海道帝国大学（以下、適宜北大と略）の営繕工事請負に関わる記述を多数確認した。

ところで、筆者は拙稿「北海道帝国大学の営繕組織の沿革と建築技術者について」¹⁾で北大営繕課の設計体制について考察し、加えて『北大百二十五年史 通説編』では、北海道帝国大学時代の学部別営繕工事一覧を作成し、年度毎に学部別建築工事価格ならびに延床面積をグラフで示すとともに主要施設の設計者と施工者を併記した²⁾。これまで工学部本館（1923年竣工）と理学部本館（1930年竣工）は大星讃平（三松）³⁾、農学部本館（1935年第一期、1937年第二期竣工）が大倉土木の請負であることなどが通史あるいは部局史で簡単に触れられてきたが、工事請負者との契約の詳細（入札、落札、契約金額など）は新聞記事などには散見できるものの総体的に語られることはなく、中小規模の工事に関しては請負の実態すら報告されたことはなかった。

本稿では、前述した2つの資料に加え、『北海タイムス』⁴⁾および『北海道帝国大学新聞』の記事、北海道帝国大学会計課『予算』⁵⁾および北海道大学施設部所蔵建築一件書類⁶⁾の記載内容を補完して、北海道帝国大学時代（1918年～1947年）の営繕工事にかかわる請負のうち、特に資料を多く得られた工事について入札から契約に至るまでの詳細を論じる。これまで、大学に所属した教職員、学生、卒業生に主眼を置いた研究や報告は枚挙に暇がないが、大学の歴史を通覧するにあたり、営繕工事の請負という間接的な形であるにせよ大学に関わった人々を大学史の一端に位置づける作業を続けて行く必要がある。

1. 工事の入札・落札および請負に関する記録

筆者は先に札幌農学校および東北帝国大学農科大学時代の営繕工事について1900年～

1917年の各建築工事請負人・工事金額・工期期日を報告した⁷⁾が、これは工事関連の公文書が偶々廃棄されずに北海道大学事務局施設部に保管されていたため工事契約の詳細を知り得たのであって、一般的には工事に関わる文書が発注側あるいは請負側に残されている例は決して多くない。

発注者が公的機関である場合は、工事契約の際には大抵の場合入札制度を取り、公入札、指名入札を問わず、入札者は入札資格を証明する「入札書類證明願」を提出し、その中に自身の請負経歴を記載する。工事関連文書中にこの証明書が含まれていることが多く、入札時から数年間遡った建築工事請負の記録を知り得る。しかし前述のように、公的機関では、工事関連文書に限らず公文書は保存年限を過ぎれば廃棄することが基本であるため、現存が確認されている事例は非常に少ない。

一方、請負側で工事請負記録を保管していることは稀である。現在でも会社組織として存続している場合には、社史などに主要請負工事の記録を垣間みることはできるが、その詳細までを把握することは難しい。会社（組）が現存しない場合には、工事記録が何らかの形で残されていたとしても、それに邂逅を得ることはほぼ皆無といってよい。

この度、閲覧の機会を得た2群の工事関連資料は、片や公的機関の入札記録であり、片や請負業者が残した入落札・契約の記録である。両者ともに北大の建築工事のみならず、札幌を中心とした北海道全域（含む樺太）の建築工事請負記録を知ることのできる貴重な資料である。

1-1 札幌控訴院工事書類『会計記録』（写真1）

札幌市公文書館では札幌控訴院庁舎（1926年竣工）の工事関連書類を所蔵している⁸⁾。

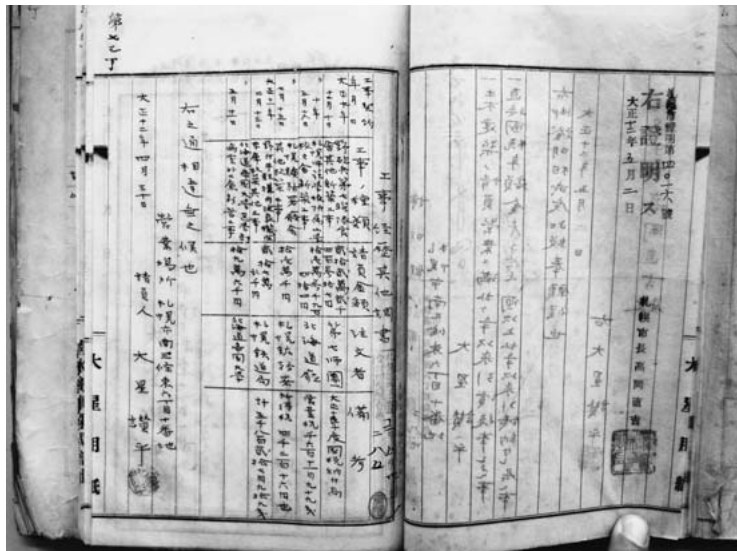


写真1 札幌控訴院工事書類『会計記録』『入札書類證明願』の例（札幌市公文書館所蔵）

簿書の内訳は1921年度から1926年度までの6カ年の『工場日誌簿』、『建築記録』、『会計記録』、『現場日誌』などで、1923年度～1926年度の『会計記録』の中に、北大関連営繕工事請負経歴のある12名の請負業者を確認できた。記載内容は、請負人氏名（会社名や代人が併記されることもある）、所在地、工事名称（規模が併記されることもある）、発注者、請負金額、契約あるいは竣工年月日である。これを一覧にして表1に示した。あくまで「入札書類證明願」に記載されたものなので、例えば1921年竣工の医学部附属医院本館や1923年竣工の工学部本館の新築工事が欠落しているなど、この表が大正時代後半期の北大営繕工事請負の全貌を示しているものではないことを補足しておきたい。

1-2 伊藤組『組報』（写真2）

札幌に本社を置く大手土木建築請負業者である伊藤組⁹⁾の創業は1893年であるが、1923年1月27日から社内報として『組報』¹⁰⁾を発行している。その創刊号には「出張所、木工所其他離れてる店員の為めに店の重なる出来事や人事を知らせ連絡を計る為めに此組報（不定期）を配布します。店員にのみ店内にて見せ持ち出す事を禁じます」とあり、当初は社外秘であったことがわかる。体裁は藁半紙二つ折り、手書きのガリ版刷りで、1年間に10～20号発行された。内容は会社記事、人事異動、随意契約工事の一覧に加え、伊藤組が入札した全工事の工事名称、発注者、入札形式、入札日、入札者、入札金額、入札の結果、落札者あるいは契約者、契約金額が記載されている。この内、北大営繕工事に関係するものを抽出し表2にまとめた。これほどに詳細な工事入札の記録は他に見ることがなく、北大の営繕工事に限って見れば、1939年以降の記録を確認できないもの、ほぼ網羅されていると言ってよい¹¹⁾。



写真2 伊藤組『組報』の例（伊藤組所蔵）

表1 札幌控訴院庁舎新営工事入札書類證明願工事履歴書にみる北大営繕工事一覧

工事名称 請負人氏名 所在地（初出のみ）	請負金額	契約、竣工年月日	掲載簿書
東北帝国大学農科大学中央講堂新営 谷口徳三郎 札幌市南2条西5丁目26	58,500円	大正6年4月25日（契約） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
札幌医科大学予科教室外六棟新築工事 伊藤亀太郎 札幌区北5条西8丁目1	42,800円	大正7年12月（竣工） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
寄宿舎新築工事 伊藤亀太郎	16,325円930	大正8年8月（竣工） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
医学部解剖学実習室外七棟新築工事 伊藤亀太郎	42,000円	大正9年6月（竣工） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
医学部解剖学及法医学教室外三棟新築工事 伊藤亀太郎	57,589円790	大正9年6月（竣工） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
医学部生理薬物医化学教室外一廉新営 佐瀬筆四郎 札幌市北2条東3丁目9	100,192円	大正9年7月19日～同10年6月30日（契約） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
農学部第八農場集会所新営他一廉 横手和三郎 札幌市山鼻町89	10,606円	大正10年8月6日（契約） 『会計記録大正十三年度札幌控訴院』	
中央講堂附属家新築工事 山田源七郎 札幌市大通西11丁目34	6,915円	大正10年8月17日（契約）～大正10年11月20日（竣工） 『会計記録大正十三年度札幌控訴院』	
工学部寄宿舎外式廉新営工事（文部省建築課札幌出張所） 伊藤亀太郎	52,300円	大正10年10月（竣工） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
医学部研究室手術室 新開新太郎 札幌市北1条東3丁目1	173,490円	大正11年4月20日（工事） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
医学部病室外二廉新営工事 大星讃平 札幌市南3条東6丁目10	196,000円	大正11年5月11日（契約） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
工学部印刷室及物置新営工事 横手和三郎	5,250円	大正11年5月25日（契約） 『会計記録大正十三年度札幌控訴院』	
工学部リノリウム敷込 堀野甚吉 札幌市南1条西4丁目	5,616円	大正11年1月20日（契約） 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
医学部汚水排水土管敷設及人孔新設工事 山田源七郎	8,970円	大正11年3月8日（契約）～大正11年6月15日（竣工） 『会計記録大正十四年度札幌控訴院』	
医学部医院リノリウム敷込 堀野甚吉	3,150円	大正12年3月10日（契約） 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
医学部病理、細菌衛生学教室外一廉新営工事 伊藤亀太郎	82,400円	目下施工中（大正12年4月1日） 『会計記録大正十二年度札幌控訴院』	
北海道帝国大学医学部伝染病室及炊事場新営外四廉工事 藤井譯吉 札幌市北3条東2丁目2	53,805円260	大正12年5月2日（契約） 『会計記録大正十四年度札幌控訴院』	
畜産実験室外六廉新営工事 藤井譯吉	48,150円	大正13年5月9日（契約） 『会計記録大正十四年度札幌控訴院』	
工学部実験室新築（注文者旭土木合資会社） 篠原要次郎 札幌市北1条西13丁目1	322,240円	大正13年8月18日（契約） 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
医学部学生集会所外四廉新営工事 藤井譯吉	24,800円	大正14年5月19日 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
農学部農業経済学教室其ノ他新営六廉工事 藤井譯吉	24,500円	大正14年5月28日（契約） 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
附属水産専門部忍路臨海実験所建物新営工事 山田源七郎	12,000円	大正13年5月28日（契約）～大正13年10月31日（竣工） 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
工学部リノリウム敷込工事五百坪 今井智能吉 札幌市南1条西2丁目	4,468円	大正14年4月1日（契約） 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
附属官舎移転改築工事 山田源七郎	13,880円	大正14年8月25日（契約）～大正14年11月15日（竣工） 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
中央講堂装飾外 小田良治 札幌区北4条西3丁目1	1,380円	大正15年4月15日 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	
バラック式装飾外 小田良治	1,400円	大正15年5月6日 『会計記録大正十五年度札幌控訴院』	

表2 伊藤組『組報』掲載の北海道帝国大学建築工事請負契約一覧

工事名称 （入札形式、ただし判明分のみ）	第一回入札年月日	『組報』号
契約内容	契約金額 入札者（順不同、○は契約者）	発行年月日
医学部本館其他新築工事	大正12年4月25日	第5号
落札	81,550円 ○新開、伊藤、藤井、佐瀬、大星讃	1923/5/1
伝染病室其他新築工事	大正12年4月28日	第5号
落札	52,230円 ○藤井、伊藤、大星讃、新開、佐瀬	1923/5/1
医科大学附属病院病室新築工事		第7号
落札	155,300円 ○大星讃、佐瀬、新開、藤井、伊藤	1923/6/20
医学部附属医院病室新営工事（指名）		第12号
落札	92,000円 ○酒井、伊藤、石塚、ほか	1924/6/30
医学部病室新営工事（指名）		第24号
落札	89,700円 ○大星讃、伊藤、他3名	1924/8/11
工学部実験室其他工事（文部省建築課指名）		第24号
落札	314,700円 ○東京朝日、大星讃、伊藤、清水、外4名	1924/8/11
医学部附属医院第二内科病室新営工事外五廉工事（指名）		第39号
落札	167,000円 ○大星、伊藤、酒井、外3名	1925/4/28
医学部附属医院皮膚泌尿科病室外三廉新営工事（指名）	大正15年4月29日	第58号
随意契約	179,949円 ○大星讃、伊藤、外5名	1926/5/1
農学部植物学教室増築其他工事（指名）	大正15年6月14日	第61号
落札	71,920円 ○今井、大星、伊藤、外3名	1926/6/19
工学部校庭地均排水道路工事（文部省建築課出張所）	大正15年10月8日指名	第67号
落札	13,985円 ○横手、大星、伊藤、外3名	1926/10/15
医学部衛生学教室増築外五棟工事（指名）	昭和2年5月14日	第80号
落札	64,920円 ○今井、大星讃、伊藤、外3名	1927/5/16
医学部精神病院新築工事	昭和2年7月1日	第83号
落札	104,700円 ○大星讃、新開、伊藤、外5名	1927/7/2
理学部新営工事	昭和2年11月21日	第92号
落札	846,000円 ○大星讃、伊藤、大倉、本多、銭高外3名（東京清水組棄権）	1927/12/1
農学部皮革製造実験室新営工事（指名）	昭和3年6月9日	第102号
落札	6,880円 ○山田、石塚、田中、伊藤、外2名	1928/6/18
工学部印刷室新営工事（指名）	昭和3年6月20日	第103号
予算超過随意契約	14,400円 ○新開、田中、大星、伊藤、木田、山田	1928/7/3
農学部附属天塩第二演習林看守所其他新営工事（指名）	昭和3年6月23日	第103号
予算超過随意契約	9,340円 ○田中、伊藤、山田、外2名	1928/7/3
特用作物温室改築工事（指名）	昭和3年7月13日	第104号
予算超過不調	山田、伊藤、田中、大星	1928/7/1
医学部附属医院伝染病室渡廊下新営工事（指名）	昭和3年7月21日	第104号
落札	17,860円 ○新開、伊藤、田中、大星讃、外3名	1928/7/1
医院伝染病室新営工事（指名）	昭和3年8月31日	第107号
予算超過不調 設計変更随意契約	150,000円 ○木田、大星讃、伊藤、外3名	1928/9/5
理学部附属家新営工事（指名）	昭和3年9月7日	第108号
再入落札	1,097,000円 ○大星讃、木田、伊藤、外2名	1928/9/24
土木専門部教室新営並配電室新営工事（指名）	昭和4年5月27日	第121号
予算超過随意契約	60,600円 ○伊藤、田中、大星讃、山田	1929/6/14
農学部附属樺太演習林派出所及官舎新営工事（指名）	昭和4年6月8日	第121号
予算超過不調	田中、伊藤、外3名	1929/6/14
医学部附属院看護婦寄宿舎新営工事（指名）	昭和4年6月17日	第122号
落札	27,700円 ○大星讃、木田、伊藤、石塚、山田、田中	1929/7/6
医学部附属医院内科第二研究室其他新営工事（指名）	昭和4年7月1日	第122号
予算超過随意契約	57,300円 ○木田、伊藤、大星、石塚、田中	1929/7/6
医学部附属医院内科第一研究室其他新営工事（指名）	昭和4年7月6日	第123号
予算超過随意契約	50,000円 ○伊藤、木田、石塚、田中、大星讃	1929/7/22
農学部附属第一農場収穫実習室雪害復旧工事並図書館製本室其他一廉新営工事（指名）	昭和4年7月11日	第123号
予算超過随意契約	32,000円 ○伊藤、山田、田中、木田、小川、大星	1929/7/22

工事名称（入札形式、ただし判明分のみ）	第一回入札年月日	『組報』号
契約内容	契約金額	発行年月日
工学部海工実験用水渠新営工事（指名）昭和5年2月20日		第132号
入札不調随意契約 8,900円 ○伊藤、森々高店、大倉		1930/3/12
農学部附属演習林派出所庁舎修繕工事 昭和5年5月12日		第134号
落札 3,200円 ○石塚、佐瀬、田中、東山、伊藤		1930/5/23
農学部農業経済学研究室増築工事 昭和5年8月9日		第136号
随意契約 2,930円 ○伊藤		1930/8/20
武道場外一廉新営工事（指名）昭和5年8月11日		第136号
落札 34,600円 ○大倉、伊藤、外4名		1930/8/20
理学実験場実験室其他新営工事（指名）昭和5年8月16日		第136号
再三入札 70,000円 ○田中、木田、菅原、伊藤、東山、大倉		1930/8/20
農学部畜産学附属動物室新営工事 昭和5年8月29日		第137号
契約工事 2,170円 ○伊藤		1930/10/13
医学部附属医院研究室其他新営工事 昭和5年8月21日		第137号
落札 147,830円 ○大倉、伊藤、木田、東山、田中		1930/10/13
工学部熱機関学科瓦斯発生炉室外一廉工事 昭和5年9月1日		第137号
落札 5,620円 ○東山、木田、伊藤、大倉、田中、石塚、山田		1930/10/13
学生生徒控所渡廊下其他新設工事 昭和5年10月6日		第137号
落札 1,660円 ○石塚、山田、木田、伊藤		1930/10/13
構内スケート場新設工事 昭和5年12月4日		第139号
落札 860円 ○東山、伊藤、木田、大倉、石塚、山田		1930/12/7
医学部附属医院研究室渡廊下新営工事 昭和5月12月9日		第139号
落札 3,175円 ○大倉、伊藤、東山、木田、山田、石塚		1930/12/7
野球スタンド新営工事 昭和5年12月19日		第140号
予算超過 契約 300円 ○山田、伊藤、東山、大倉		1930/12/29
農学部畜産学解剖室及講義室其他修繕工事（指名）昭和6年3月3日		第142号
落札 7,280円 ○木田、東山、伊藤、山田、田中		1931/3/7
農学部附属雨竜演習林派出所庁舎修繕工事（指名）昭和6年4月25日		第144号
随意契約 3,200円 ○田中、宇佐美、伊藤、外4名		1931/5/22
農学部附属雨竜演習母子里看守所新営工事（指名）昭和6年4月17日		第144号
落札 4,390円 ○田中、伊藤、外5名		1931/5/22
医学部附属医院婦人科研究室外五廉新営工事（指名）昭和6年5月18日		第144号
落札 66,200円 ○伊藤、東山、大倉、田中、木田、飛鳥		1931/5/22
医学部附属医院外科研究室外五廉新営工事（指名）昭和6年5月26日		第145号
落札 39,300円 ○田中、大倉、伊藤、外3名		1931/6/5
本部事務室増築外参廉工事（指名）昭和6年5月27日		第145号
23,700円 ○東山、伊藤、田中、外4名		1931/6/5
予科寄宿舎移転改築工事（指名）昭和6年5月29日		第145号
予算超過随意契約 78,900円 ○伊藤、大倉、田中、木田、外4名		1931/6/5
医学部石炭庫新営外一廉工事（指名）昭和6年5月30日		第145号
落札 9,300円 ○大倉、東山、田中、伊藤、外3名		1931/6/5
予科寄宿舎煙突改築工事（指名）昭和6年6月13日		第146号
再入落札 4,490円 ○伊藤、木田、田中、外2名		1931/7/1
予科寄宿舎改築暗渠其他工事（指名）昭和6年9月25日		第150号
超過随意契約 730円 ○伊藤、田中、東山		1931/10/15
予科及本部増築（事務室）暗渠新営工事（指名）昭和6年9月26日		第150号
落札 1,980円 ○東山、伊藤、田中		1931/10/15
予科寄宿舎火防用貯水池及池新設工事 昭和6年10月30日		第150号
契約工事 6,100円 ○伊藤		1931/10/15
医学部附属医院婦人科病室一部模様替工事 昭和6年12月2日		第150号
契約工事 1,250円 ○伊藤		1931/10/15
予科寄宿舎移転改築工事附属道路及建物用雨落砂利		第150号
契約工事 2,000円 ○伊藤		1931/10/15
予科寄宿舎掘削下水柵外一廉工事 昭和6年12月14日		第150号
契約工事 1,460円 ○伊藤		1931/10/15

北海道帝国大学（1918年～1947年）の営繕工事請負について（池上）

工事名称（入札形式、ただし判明分のみ）	第一回入札年月日	『組報』号
契約内容	契約金額	発行年月日
理学部臨海実験所実験室増築並模様替工事（指名）昭和7年6月22日		第159号
再入札不調 田中、大倉、飛鳥、伊藤、外2名		1932/7/9
医学部附属医院外来応急診療所新営工事（指名）昭和7年7月4日		第159号
落札 5,370円 ○東山、石塚、大倉、田中、伊藤、外2名		1932/7/9
医学部附属医院皮膚泌尿科研究室外四廉新営工事（指名）昭和7年7月5日		第159号
不調随意契約 36,900円 ○東山、伊藤、田中、大倉、木田、飛鳥		1932/7/9
農学部附属植物園温室改築工事（指名）昭和7年7月7日		第159号
落札 18,130円 ○木田、伊藤、石塚、山田、外3名		1932/7/9
医学部医院貯水池新設工事（指名）昭和7年7月8日		第159号
落札 16,700円 ○大倉、木田、東山、伊藤、田中、飛鳥、外1名		1932/7/9
植物園附属博物館修繕工事（指名）昭和7年7月13日		第160号
落札 2,300円 ○山田、石塚、伊藤、大倉、外3名		1932/7/28
協済会附属温室新営工事（協済会指名）昭和7年7月18日		第160号
落札 9,970円 ○石塚、伊藤、大倉、東山、木田		1932/7/28
学生主事官舎新営工事（指名）昭和7年7月19日		第160号
落札 4,780円 ○田中、伊藤、山田、大倉、東山		1932/7/28
医学部附属医院浴室新営工事（指名）昭和7年7月26日		第160号
落札 17,280円 ○石塚、伊藤、東山、田中、中谷、田中小、大倉、山田		1932/7/28
本部附属官舎修繕工事（指名）昭和7年9月1日		第162号
落札 760円 ○山田、田中、佐瀬、伊藤、東山		1932/9/24
医学部病理組織実習室増築工事（指名）昭和7年9月14日		第162号
落札 640円 ○田中、伊藤、外4名		1932/9/24
医学部附属医院精神病室上屋根取設工事（営繕）昭和7年10月12日		第163号
落札 8,140円 ○佐瀬、伊藤、東山、田中、石塚、大倉、田中小、山田		1932/10/24
土木専門部材料強弱実験室外二廉工事（営繕課指名）昭和8年5月10日		第169号
落札 9,885円 ○東山、佐瀬、山田、木田、伊藤、外2名		1933/6/9
農学部雨竜演習林派出所官舎修繕模様替工事（北海道帝大営繕課指名）昭和8年5月29日		第169号
落札 3,470円 ○田中、大倉、宇佐見、伊藤、外3名		1933/6/9
工学部橋梁学実験室外一廉工事（営繕課指名）昭和8年5月29日		第169号
落札 15,900円 ○東山、木田、大倉、伊藤、佐瀬、田中		1933/6/9
医学部医院暖房汽缶室増築外式廉造二（指名）昭和8年6月5日		第169号
11,860円 ○東山、木田、伊藤、大倉、外3名		1933/6/9
医学部附属医院小児研究室外七廉新営工事（契約）昭和8年6月17日		第170号
契約 82,000円 ○伊藤		1933/7/24
本部建物新営工事（指名）昭和8年6月28日		第170号
落札 5,500円 ○山田、大林、東山、田中、伊藤、木田、大倉		1933/7/24
医学部附属医院精神科研究室外三廉設置工事（指名）昭和8年7月9日		第170号
落札 33,800円 ○大林、東山、田中、大倉、木田、伊藤、石塚		1933/7/24
農学部改築工事（指名）昭和8年9月25日		第173号
予算超過随意契約 348,870円 ○大倉、伊藤、清水、鹿島、木田、大林、田中		1933/10/14
附属図書館書庫増築工事（指名）昭和9年5月19日		第181号
落札 15,890円 ○東山、木田、大倉、田中、伊藤、今井、沖津		1934/6/8
学生生徒控所増築工事（指名）昭和9年5月29日		第181号
落札 22,160円 ○沖津、石塚、東山、田中、伊藤、今井、泉屋		1934/6/8
医学部附属医院臨床講義室及準備室外一廉新営工事（指名）昭和9年6月11日		第182号
予算超過不調 泉屋、東山、木田、今井、伊藤、田中、沖津		1934/7/10
予科寄宿舎石炭庫新営工事（指名）昭和9年6月18日		第182号
落札 1,980円 ○田中、東山、伊藤、沖津、石塚、泉屋		1934/7/10
予科建物改築工事（指名）昭和9年8月6日		第183号
随意契約 74,500円 ○沖津、伊藤、東山、外4名		1934/8/9
医学部附属医院理学的治療室外一廉新工事（指名）昭和9年7月25日		第183号
落札 68,200円 ○木田、東山、伊藤、大倉、今井、泉屋		1934/8/9
官舎新営工事（指名）昭和9年7月31日		第183号
随意契約 12,370円 ○東山、木田、今井、伊藤、石塚、沖津、泉屋		1934/8/9

工事名称（入札形式、ただし判明分のみ）	第一回入札年月日	『組報』号
契約内容	契約金額	発行年月日
医学部附属医院汚物焼却場並煙突其他新営工事（指名）昭和9年9月25日		第184号
超過不調	木田、伊藤、伊藤、東山、大倉	1934/9/30
医学部附属医院汚物焼却場並煙突其他新営工事（営繕指名）昭和9年10月9日		第185号
不調	泉屋、伊藤、今井、東山、沖津、木田、大倉	1934/11/8
海藻研究場宿舍外一廉新営工事（指名）昭和10年5月4日		第192号
不調	今井、伊藤、東山、泉屋、末野、福岡、木田	1935/5/15
医学部医院登別分院新営工事（指名）昭和10年5月8日		第192号
超過随意契約	56,500円 ○伊藤、外不明	1935/5/15
農学部附属演習林建物新営工事（指名）昭和10年5月9日		第192号
不調	鉄道工業、谷川、東山、伊藤、外9名	1935/5/15
農学部附属演習林建物其他新営工事（天塩ノ分）（指名）昭和10年5月20日		第193号
随意契約	4,810円 ○鉄工、谷川、今井、藤井、伊藤、鶴間、外4名	1935/6/6
常時定温実験室新営工事（指名）昭和10年5月21日		第193号
落札	15,830円 ○東山、木田、鈴木、大倉、伊藤、泉屋、今井、沖津	1935/6/6
農学部建物第二期改築工事（指名）昭和10年6月13日		第194号
不調随意契約	○大倉、伊藤、清水、竹中、銭高、大林、鹿島	1935/7/27
医学部医院登別分院暖房外八廉装置工事（指名）昭和10年7月4日		第194号
	高山商会、斉藤、赤司、村田、伊藤	1935/7/27
高等水産学校製造実習室新築其他工事（営繕管財局）昭和10年7月12日		第194号
契約工事	116,800円 ○伊藤	1935/7/27
外柵及門柱改築工事（指名）昭和11年5月23日		第202号
落札	26,630円 ○木田、今井、大倉、伊藤、外6名	1936/6/10
予科建物第二期改築工事（指名）昭和11年6月1日		第202号
落札	94,700円 ○東山、木田、大倉、伊藤、沖津、外3名	1936/6/10
医学部汚水廃池浄化装置改造工事（指名）昭和11年6月3日		第202号
落札	9,280円 ○泉屋、大倉、大森、他5名	1936/6/10
工学部鉄道工学部実験室新営工事（営繕指名）昭和11年6月18日		第203号
随意契約	8,200円 ○沖津、藤井、伊藤、外2名	1936/8/20
理学部海藻研究室新営工事（営繕指名）昭和11年7月3日		第203号
不調	本野、伊藤、外7名	1936/8/20
函館高等水産学校網干場敷地整地工事（高水指名）昭和11年10月26日		第207号
決定	2,500円 ○伊藤、竹内、今井、瀬崎	1936/11/7
農学部肉製品製造実習室新営工事（指名）昭和12年6月7日		第216号
不調	東山、伊藤、大倉、今井、沖津、田中、藤井	1937/6/19
医学部附属医院書庫新営工事（指名）昭和12年6月17日		第216号
随意契約	18,000円 ○今井、伊藤、沖津、東山、田中、大倉、木田	1937/6/19
農学部肉製品製造実習室新営工事（指名）昭和12年6月24日		第216号
随意契約	17,600円 ○東山、伊藤、田中、今井、木田、大倉、沖津	1937/6/19
医学部附属医院登別分院官舎新営工事（指名）昭和12年8月4日		第218号
不調	本野、大森、伊藤、泉屋、藤井、木田、今井	1937/8/20
農学部工芸作物学教室附属温室改築工事（指名）昭和13年5月12日		第227号
落札	1,980円 ○泉屋、伊藤、木田、板谷、東山	1938/6/10
医学部標本庫新営工事（指名）昭和13年5月16日		第227号
不調	今井、伊藤、東山、沖津、木田	1938/6/10
工学部燃料研究室其他新営工事（指名）昭和13年8月11日		第229号
決定	18,950円 ○石塚、伊藤、今井、沖津、東山、田中、大倉、木田、泉屋	1938/8/29

※表中空欄は『組報』に記載がないもの

2. 北大営繕工事の契約手順

北大に限ったことなく、営繕組織を内包する国立の高等教育機関（主に帝国大学）

では、学部・学科・研究所等の新設・増設に伴う諸施設の新築に当たって以下のような手順をふむ。

まず文部省と予算折衝を行い、歳入予定額が決定した後、営繕組織で設計を実施する。設計が完了すると請負業者に見積を依頼し、その見積額をもとに予定価格を決める。次いで入札となるが、北大の場合は、表2からもわかるように指名入札がほとんどで、5～8社程度を指名する。稀に入札を伴わない随意契約がある。指名された請負業者は、公示された入札日に見積額を提示する。この額が予定価格を下回っていれば最低価格の入札者が落札し契約となる。しかし、最低価格が予定額を超過した場合には再入札が行われる。それでも予定価格に達しない時には、再三入札を行うことは稀で、予算超過不調とし、大抵は指名者に対して予定価格を示し随意契約を持ちかける。ほとんどの場合は最低価格の入札者が随意契約に応じるが、時には設計・仕様変更を行い、再度入札公示をすることもある。最終的には、いずれかの形で発注者と請負業者の間で工事契約が取り交わされ建築工事が始まる。工事に当たっては、請負業者が一部工事を孫請けに出すことが頻繁にある。特に工事規模が大きければ、この傾向は更に強くなる。

3. 主要施設の入札と契約

3-1 東北帝国大学農科大学中央講堂

1917年竣工の中央講堂の請負業者を、拙稿¹²⁾では不明としていたが、札幌控訴院工事書類『会計記録』の記述から札幌の谷口徳三郎であることが判明した。単独の北海道帝国大学として独立する1年前の工事だが、新規発見でもあるので簡単に触れておきたい。

谷口は札幌控訴院庁舎の工事請負人であるが、1911年の『札幌商工人名録』¹³⁾の「請負業」や、1916年の『札幌商工便覧』の建築土木請負業の広告欄に名前を確認できない。1924年の『札幌商工人名録』によりやく初出となる。これによると、納入の営業税は216円余で、当時、札幌市内では最大手の伊藤組の納税額4,457円余に比して20分の1以下であり、札幌の建築請負業で16位である。表2の同年代の指名入札者の中にも谷口の名前は確認できない。谷口が中央講堂の工事契約に至った経緯は資料がなく不明である。1921年の中央講堂附属家新築工事は谷口ではなく山田源七郎が請け負った。因に山田は1924年『札幌商工人名録』では建築請負業の24位である。

3-2 予科教室

『北海タイムス』1918年5月26日の記事によると「北海道帝国大学予科教室工事入札は昨二十五日開札四万二千八百円にて札幌建築請負業伊藤亀太郎氏に落札せり同氏は昨年中已成の同建築基礎工事請負人なりき」とあり、札幌控訴院工事書類と齟齬はない。また、この記述から、基礎工事は建築工事とは別途請負契約を結んでいたことがわかる。

1921年6月竣工の工学部予科教室の請負記録は残っていない。

3-3 寄宿舍

北海道帝国大学建築事務所『大正八年度 医学部寄宿舍新営工事書類』¹⁴⁾によると、医学部寄宿舍新築工事は1919年3月26日に、伊藤亀太郎、大星三松、新開新太郎、川村音吉、大星鶴松、藤井澤吉の6名による指名入札が行われた。ただし川村は辞退している。第1回入札で伊藤が最低価格を提示したが、予定価格17,040円93銭に到達せず、北大建築事務所側で設計変更をなし、予定価格を16,325円93銭に更正し再度入札を公示した。ここでも第1回入札、再入札ともに不調、結果、翌27日に伊藤と予定価格で随意契約を交わした。ここに指名された請負人を1924年『札幌商工人名録』の建築請負業の営業税納税額順位でみると、伊藤が1位、大星三松が5位、新開が7位、川村が3位、大星鶴松は掲載がなく、藤井は14位である。指名入札者の選定基準については、別途考察する必要がある。

1921年10月竣工の工学部寄宿舍も伊藤亀太郎が請負っているが、工事発注者が医学部寄宿舍とは異なり北大建築事務所ではなく文部省建築課札幌出張所である。同出張所発注の工事はこれ以外に確認できない。

3-4 医学部基礎科校舎（写真3）

『北海タイムス』1919年4月25日の記事に「法医学教室、解剖学教室、解剖講義実習室及解剖学病理学組織学等の実習室は之を当建築事務所にて設計し病理学及細菌学、衛生学の教室並に講義室は文部省にて設計したるが是等に関する仕様書は一部更正の必要あり旁々事務打合せの為本日技術員は上京する筈なれば其帰着と共に五月中旬には入札に附することを得可し」と、同じ医学部基礎科校舎でも設計が北大建築事務所と文部省建築課札幌出張所に分かれていたことが読み取れる。前述の寄宿舍も、同様に設計主体が異なっていたために発注者が異なった可能性を指摘できる。



写真3 医学部基礎科校舎 左から生理薬物医化学教室、解剖病理組織実習室および解剖学講義室、病理細菌衛生学教室（『医学部第4期卒業アルバム』北海道大学大学文書館所蔵）

まず、解剖実習室外一廉新築工事について、『大正八年起九年 完結工事書類』¹⁵⁾に「基礎医学新営工事ノ内解剖病理組織実習室及解剖学実習室工事入札ハ五月三十日執行候処再度ノ入札ニ於テモ予定価格ノ制限ニ達セス競争者中随意契約受人モ無之ニ付尚ホ本月七日競争入札ノ結果再入札ニ於テ請負人伊藤亀太郎ニ落札致シ」とあり、1919年5月30日に入札が行われたが再入札も含め不調に終わり、更に随意契約の申し出もなく、同年6月7日に再度入札を行った結果、再入札で伊藤亀太郎が落札したことがわかる。

解剖学実習室外一廉新築工事は、『北海タイムス』1919年6月19日の記事では「北大医学部解剖学教室法医学教室外三棟其他二廉工事入札は十七日再入札の結果伊藤亀太郎氏の五万七千六百七十円も予定価格を超過せる為落札に至らざりしも随意契約に依りて同氏請負ふ事となれり因に該工事は九年四月竣工の見込」とあり、前出『大正八年起九年 完結工事書類』にも「解剖学教室及法医学同玄閣解剖学講義室工事ハ本月十七日競争入札」と、1919年6月17日の入札では予算超過のため不調となり、伊藤亀太郎と随意契約を交わしたことが読み取れる。札幌控訴院工事書類によると契約金額は57,589円79銭で、竣工は1920年6月であった。

生理薬物医化学教室外一廉新営工事は『大正九年一月完結文書綴 生理薬物医化学教室並同講義室新営工事』¹⁶⁾によると、予定価格96,192円で1920年6月26日に伊藤亀太郎、大星讃平、佐瀬筆四郎、川原勝一郎の4名で入札を行った。川原は小樽の請負業者¹⁷⁾で、佐瀬は1924年『札幌商工人名録』では建築請負業者の9位である。第1回入札の最低価格は伊藤の119,248円、再入札でも118,900円で不調となった。札幌控訴院工事書類によると、落札したのは、最低価格を提示した伊藤ではなく佐瀬で、契約金額は予定価格とは異なり100,192円。この金額の食い違いについて詳細は不明である。

3-5 医学部附属医院本館・各科病棟（写真4）

医学部附属医院本館について、札幌控訴院工事書類に工事請負の記録は確認できない

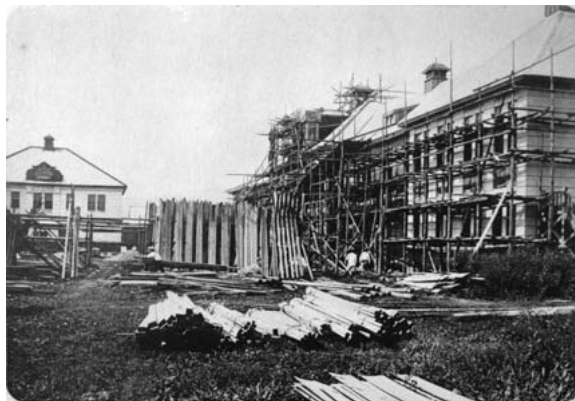


写真4 工事中の医学部附属医院第二内科病棟
（『医学部第1期卒業アルバム』北海道大学大学文書館所蔵）

が、『北海タイムス』1921年4月7日の記事に、「北海道帝国大学医学部附属大学病院の上棟式は昨日午後一時半より札幌区北十三条の同院に於て挙行さる、来賓は南農学部長外数名あり盛況を極めたるが定刻一同、基礎工事を除き十四万円の請負に成る宏壮なる同院階上なる栈敷式場に列席（中略）席上請負者川原氏の挨拶南博士の祝辞ありて午後二時半散会せり」とあり、請負人が川原であること、基礎工事を除いた建築工事の契約金額が14万円であることが読み取れる。川原とは前掲の生理学薬物医化学教室外一廉新営工事に入札した小樽の川原勝一郎のことであろう。札幌以外に在住の建築工事請負人が北大の営繕工事に入札し、落札もしていた。

各科病棟の工事については、『組報』以外に工事関連の詳細な資料を得られなかった。1923年度の眼科病棟にはじまり、1926年の皮膚泌尿科病棟に至るまで全9棟、4カ年にわたり続いた工事請負は、5件中4件を大星讃平が落札している。

3-6 工学部本館・実験室（写真5）

前述のように工学部本館の工事入札記録は残っていない。しかし、工学部同窓会室に本館の棟札が保管されている。棟札には請負人大星讃平、代人東山鑛三・佐川三之助、棟梁佐藤藤次郎の他、副棟梁、鳶職、煉瓦職、左官職、石工職など各種工事請負人の代表者氏名が記してある。起工は1922年9月15日、上棟は1923年6月14日であった。

鉄筋コンクリート造平家建である実験室其他新築工事は、1924年8月1日の『組報』第23号に「目下見積中」とあり、伊藤組が見積額を算定していたことがわかる。この工事は『組報』第24号によると、文部省建築課が発注した東京朝日組、大星讃平、伊藤組、清水組、外4名による指名入札で、東京朝日組が314,700円で落札した。ちなみに見積りをした伊藤組は343,000円の入札しており、これは入札順位第4位であった。見積額と予定価

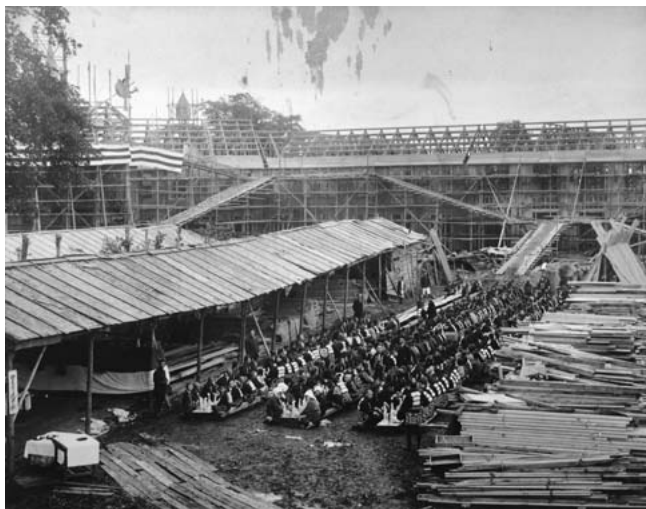


写真5 工学部本館上棟式（大星孝幸氏提供）

格が必ずしも同じではないことを証明している。なお、札幌控訴院工事書類では「東京朝日組」ではなく「旭土木合資会社」と記しており、なおかつ、札幌の篠原要次郎¹⁸⁾が契約金額より高い322,240円で工事全部を孫請けしていることが読み取れる。

3-7 創基50周年記念祝典（写真6）

1926年の創基50周年記念祝典に際し、中央講堂を皇族の御休憩所として装飾するとともに、梁間13間桁行30間軒高10尺のバラックを建て、学生を含めた式典出席者の収容所に充てることにした。バラックの建築工事は大星讃平が請け負い、両施設の式場装飾は建築家田上義也に外注した¹⁹⁾。式場装飾は中央講堂、バラック共に小田良治が請け負っている。小田は三井物産の札幌駐在員であるとともに札幌の大手百貨店五番館のオーナーでもあった。

3-8 医学部附属医院精神科病棟（写真7）

精神科病棟は工学部実験室に次いで北大で2番目に建てられた総鉄筋コンクリート造の建物である。『北海タイムス』1927年2月25日の記事には「北大病院に新設さるべき精神病室は昭和二年度予算を以て愈々建築する事に決し設計に取急ぎ着手する筈であるが該病室平屋建鉄筋コンクリート約五百坪で予算額二十万円本年内に竣工する予定」とある。『組報』によると大星讃平が落札し、104,700円で契約している。実際には、工事価格は109,195円、建坪は500坪5合で1927年12月8日に竣工した²⁰⁾。

3-9 理学部本館（写真8）

これまで、理学部本館は北大で最初の本格的鉄筋コンクリート造の建造物と言われてきた²¹⁾が、前述のように、工学部実験室がこれより5年、医学部附属医院精神科病棟が2年遡る。

『北海タイムス』1927年2月19日の記事に「新設北大理学部は略其予算も成立確実の見込が立つたので準備委員会に於て夫々手配をなせる事は既報の通りであるが校舍建設も本

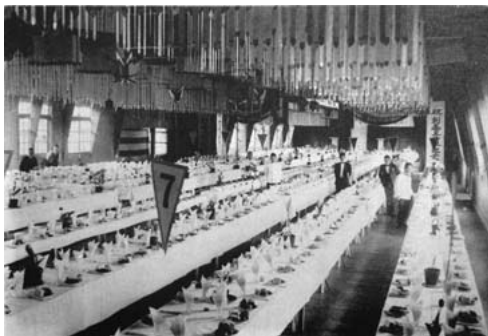


写真6 創基50周年記念祝典バラック装飾
（『創基五十周年記念祝典報告』所載）



写真7 工事中の医学部附属医院精神科病棟（『医学部
第3期卒業アルバム』北海道大学大学文書館所蔵）

年内に着手する事になるので北大営繕課に於て取急ぎ設計に着手する筈である」とあり、理学部設置にあたって文部省との交渉と予算も目処が立ったので、営繕課が設計を始める旨が読み取れる。同年9月4日の記事では「新設北大理学部予算に関しては文部省は北大の要求は全部認められ学舎の建築は九月中入札を済まし十月中には起工する由」と、文部省の認可が降り、予算も確定、9月に入札、10月には起工する予定であるという。しかし実際には入札は2カ月ずれ込み、1927年11月21日付『北海道帝国大学新聞』には「理学部請負入札二十一日午前行はる 請負者は直接国税の多寡、既請負建築物の大小にて選抜されて営繕課の指名によるものにて、本道内からは伊藤組と他一名にて他は全部本邦一流請負業者を網羅し合計十名内外らしく総工費予想は二百万円から二百五十万円までと見られてゐる」とあり、更に『北海タイムス』1927年11月22日の記事にも「愈々昨二十一日午前十一時北大本部に於て指名入札に附した指名入者は地元側伊藤、大星の両請負師、地元外七名の計九名であつたが開札の結果伊藤組と千円の差の八十四万六千円で大星組に落札した」と、大星讃平が846,000円で落札したと記述される。『組報』によれば指名入札者は大星讃平、伊藤組、大倉土木、木田組、銭高組他3名で、東京の清水組は棄権したという。工事契約は1927年11月28日であつた²²⁾。

『昭和参年度 予算 会計課』によれば、「基礎工事実地施工ニヨリ地質頗ル不同ニシテ前設計ノ杭数ニテハ耐震上聊カ不安ヲ生セルノミナラス建物加重増加ニ伴ヒ設計変更ノ止ムナキニ至」り、「鉄筋コンクリート工作上ニモ増加変更ノ必要ヲ生」じ、「前契約ニ対シ金貳萬貳百六拾六円参拾七銭ヲ追加致シ」更正請負金が866,266円37銭となつた²³⁾。上棟式は1928年10月28日に挙行された²⁴⁾。



写真8 コンクリート打ち込み中の理学部本館

(『医学部第4期卒業アルバム』北海道大学大学文書館所蔵)

3-10 医学部附属医院伝染病棟（写真9）

伝染病棟は、最初の入札では予算超過のため不調となり、設計変更の末、東京市神田区淡路町の木田保造と150,000円で随意契約を行った。『昭和参年度 予算 会計課』には「実施工程届出書 札幌市南一条西一丁目七番地 木田保造代人石川一郎」²⁵⁾と、札幌在住の石川一郎が工事代人であることが記されている。1929年の『札幌商工人名録』の「請負」の欄に「石川一郎」の名前は確認できないので、建築工事請負人ではなく、契約等事務処理の代人であると考えられる。

同じ鉄筋コンクリート造とはいえ、同年竣工の理学部本館とは異なり、伝染病棟はインターナショナル様式としている。「屋上庭園を計画してモダン」と評された²⁶⁾。この伝染病棟の竣工を以て附属医院は一通りの完成を見た。

3-11 理学部附属厚岸臨海実験所²⁷⁾（写真10）

『北海タイムス』1929年12月22日の記事に「厚岸町における北大理学部附属臨海実験所敷地寄附工事は工費二万二千余円を以て同町菅原忠太郎氏請負ひ本年八月二十七日起工爾来百八日の日時を費し延人員三千六百人を要し本月十二日総敷地の地均し千二百余坪の竣工を見た」とあり、地元厚岸の菅原忠太郎が基礎工事を請負ったことがわかる。

厚岸臨海実験所其他新営工事は予定価格70,000円で1930年8月16日に指名入札が行われた。指名者は札幌の伊藤亀太郎、大星讃平の代人を長く務めた東山鑛三、東鷹栖村の田中銀次郎、地元厚岸町の菅原忠太郎、東京神田の木田保造、東京京橋の大倉土木の6名であった。第1回入札の最低価格は田中の79,400円であったが、予定価格を超過したため再入札が行われたものの入札金額75,200円と不調に終わり、「指名競争入札執行ノ結果予定価格ニ達セス然ルニ最低入札者田中銀次郎ヨリ随意契約ノ申込アリタルニ依」り予定価格の70,000円で契約が締結した。しかし同年8月21日の契約金額は70,182円66銭であった²⁸⁾。この契約金額の微増分については詳らかではない。

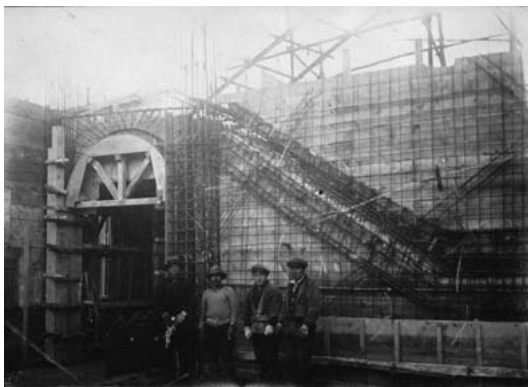


写真9 配筋工事中の医学部附属医院伝染病棟
(岡田孝生氏提供)

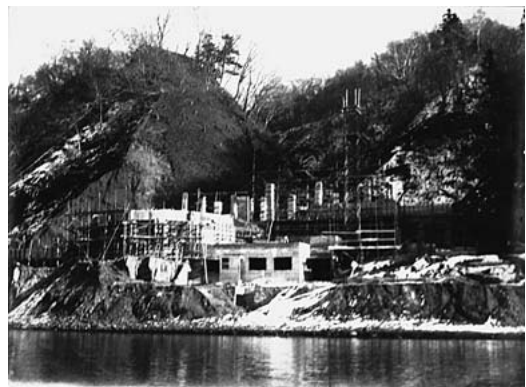


写真10 工事中の理学部附属厚岸臨海実験所
(岡田孝生氏提供)

3-12 医学部附属医院研究室（写真11）

『組報』では、1929年に第二内科研究室と第一内科研究室内の工事契約が行われたことになっているが、同年竣工の建物は第一外科研究室と第一内科研究室であるので、前者が誤記であろう。両者ともに予算を超過し、前者は木田保造が、後者は伊藤亀太郎が随意契約した。

1930年度の医学部附属医院研究室其他新営工事は伊藤亀太郎、東山鑛三、田中銀次郎、大倉土木、木田保造の5名により1930年8月21日に入札が行われ、大倉土木が148,257円20銭（『組報』では147,830円）で落札、1930年8月25日に契約した。工事建物の内訳は眼科研究室、同附属動物室、第二内科研究室、同附属動物室、耳鼻咽喉科研究室、同附属動物室である。また医学部附属医院研究室渡廊下新営工事も同じく大倉土木が3,175円で同年8月21日に契約した²⁹⁾。

各科研究室は、1933年の精神科研究室まで計10棟が継続して建築された。いずれも鉄筋コンクリート造2階建てのインターナショナル様式の建物であった。病棟の時には大星讃平が工事請負をほぼ独占していたのとは異なり、工事請負8件中、伊藤組が3件契約しているだけで、他は全て請負先が異なっている。

3-13 体育施設

『北海タイムス』1927年8月5日の記事に「北大にては完備せる体育場がないので不都合を感じて居たが愈々明年度は経費十万円を以て大体育場が出来らしい曩に北大予科で経費一万円の小規模の体育場を建築する積りで該経費を明年度予算にて要求したものであったが北大本部にては該計画が機宜に適せるものとなし経費十万円に増加し文部省に要求した文部省も大いに共鳴するさうであるから実現の可能性のある本計画の概要は中央を相

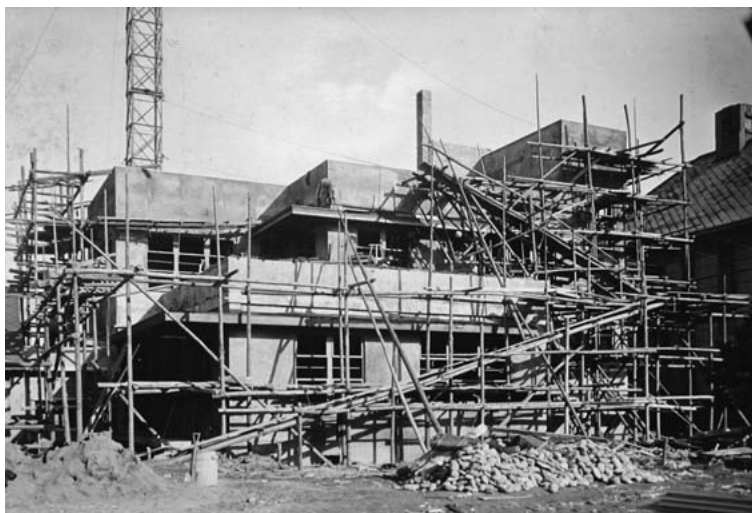


写真11 工事中の医学部附属医院第二内科研究室（岡田孝生氏提供）

撲場として其両側を柔道場及剣道場となし相撲競技の場合は見物席と為し得る様のものである」と、1928年度に武道場の建設が計画されていることを記している。しかし実際に武道場が建設されるのは1930年度のことで、『北海道帝国大学新聞』にも「銃剣両部への福音 大武道場完成 今夏八月十一日入札に附し鋭意これが完成の歩を進めてゐるモダン道場の建築は三万四千六百円で落札し八月十七日より東京大倉土木株式会社の手によりて起工された」³⁰⁾と記述される。

また同年末には、野球場スタンド建設費として300円、スケートリンク拡張費として847円が計上された。さらにスケートリンクの樋門設置費として130円が追加された³¹⁾。『組報』によると構内スケート場新設工事の契約金額は860円なので、上記金額の合計値と食い違う。

3-14 農学部改築工事（写真12）

『北海タイムス』1933年10月1日の記事によれば「北大農学部の改築は此の程設計成り二十五日大林鹿島清水木田伊藤田中大倉七組の指名入札の結果二回とも予算超過で不調に終り二回目最低入札（三十七万八千三百円の大倉組と二十九日あらためて三十四万八千八百七十円にて随意契約が結ばれ大倉組は直ちに工事に着手する事となつた）」とある。指名請負業者は、伊藤組（札幌）と田中銀次郎（東鷹栖町）が北海道である以外は、大林組、鹿島組、清水組、木田組、大倉土木と東京の大手が名を連ねる。予算超過不調の末、大倉土木が第一期工事を348,870円で9月29日に随意契約した。第二期工事は『組報』によると、1935年6月13日に大倉土木、伊藤組、清水組、竹中組、銭高組、大林組、鹿島組の7名による指名入札が行われたが、予算超過不調により大倉土木が随意契約で請負った。

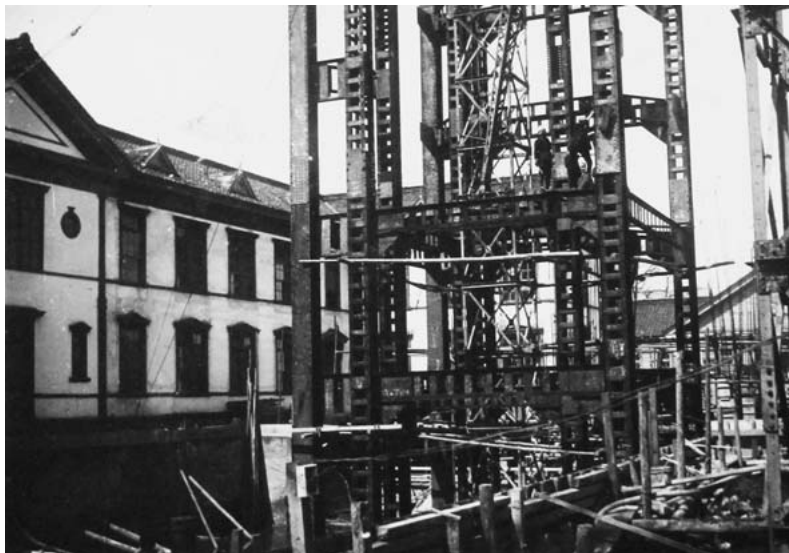


写真12 第1期工事中の農学部本館（岡田孝生氏提供）

むすび

札幌控訴院工事資料と伊藤組『組報』を基礎資料に、北海道大学所蔵の会計簿および建築一件書類、新聞記事などで補完しつつ、北大営繕工事請負の実態を概観した。官庁であるが故に工事契約の際には指名入札の形態をとることが多く、かつ指名された請負業者も常に入札指名を受けている伊藤組のような大手は別格として、多岐にわたる。契約（落札）者に目をやると、高額な契約には、それ相応に実力のある（納付営業税額の多い）請負業者が目立つ。請負者のみに課される入札保証金、契約保証金といった片務契約が存在した戦前期の請負契約の実態を鑑みると、致し方のないことであろう。また、理学部本館や農学部本館の指名入札の際には、東京の大手請負業者を多数指名した。鉄筋コンクリートという新しい構造であることに加え、10万円を超える巨額の工事契約金は魅力的である一方、片務契約に伴う保証金を考えた時に、地元の中小規模の請負業者には荷が重かったことは想像に堅くない。

ともあれ、本稿を以て北海道帝国大学時代の営繕工事の請負業者のほとんどが明らかとなった。筆者が編集に携わった『写真集北大125年』³²⁾に掲載の写真と年表に照らし合わせつつ、請負業者の姿をそこに重ね合わせることで、北海道大学の歴史がより多様に語られていくことを願ってやまない。

〔注〕

- 1) 池上ほか「北海道帝国大学の営繕組織の沿革と建築技術者について」（『日本建築学会計画系論文集』、第541号、pp.213-219、2001年）。
- 2) 池上「第一部 通史 第四編 キャンパスの変遷 第四章 札幌キャンパスの拡大（札幌キャンパス第Ⅱ期）一九一八～一九五九年」（『北大百二十五年史 通説編』、pp.273-283、2003年）。
- 3) 大星讃平（三松）については、川口洋光ほか「北海道大学関連施設と建築請負業者大星鶴松及び三松」（『日本建築学会大会（東海）学術講演梗概集 F 2』、pp.644-645、2003年）で報告されている。
- 4) 2013年7月に開館した札幌市公文書館では、オンラインでの新聞記事検索システムを提供している。そのうち北海道帝国大学に関する記事は『北海タイムス』にのみ確認できた。
- 5) 北海道大学大学文書館所蔵。1900年度の札幌農学校時代から所蔵しており、北海道帝国大学時代のものは年度毎に綴じてある。
- 6) 所蔵は施設部であるが、現在、大学文書館で保管。
- 7) 池上「第一部 通史 第四編 キャンパスの変遷 第三章 北八条キャンパスの誕生（札幌キャンパス第Ⅰ期）一九〇三～一九一八年」（『北大百二十五年史 通説編』、pp.262-272、2003年）。
- 8) 1973年に札幌市が札幌高等裁判所から旧札幌控訴院庁舎の譲渡を受けた際に同時に移管されたと考えられている。
- 9) 伊藤組については『伊藤組百年史』（1998年）のほか、細谷理喜ほか「伊藤亀太郎（1863-1944）について」（『日本建築学会北海道支部研究報告集』、No67、pp.577-580、1994年）を参照。
- 10) 1961年7月に『社報』、1983年に『ひしこ』と名称変更しているものの現在でも発行されている。
- 11) 例えば筆者が報告した備外国人教師官舎（池上ほか「北海道帝国大学および小樽高等商業学校備外国人教師官舎（大正14年～昭和2年）について」、『日本建築学会計画系論文報告集』、第484号、pp.221

- 229、1996年）のうち、小樽高等商業学校の一号および二号官舎の入札記録はあるが、それ以外（北大の一号～六号、小樽高等商業学校の三号と四号）は確認できないなど、記載のない物件はわずかながらある。
- 12) 注7) に同じ。
 - 13) 札幌商工会議所発行の『札幌商工人名録』は毎年発行されている訳ではなく、北海道大学附属図書館北方資料室には1911年、1924年、1926年、1929年、1933年、1937年の出版を確認できる。
 - 14) 北海道大学事務局施設部所蔵。
 - 15) 北海道大学事務局施設部所蔵。1919年6月11日「基礎医学新営工事一部入札通報ノ件」。
 - 16) 北海道大学事務局施設部所蔵。
 - 17) 小樽商業会議所『小樽商工名録』（1922年）によると、川原勝一郎は建築請負業で最高額（951円）の営業税を納めている。所在地は小樽市入船町5丁目14。
 - 18) 篠原要次郎は1909年に焼失した北海道庁旧庁舎の災害復旧工事（1910年6月～1911年7月）の請負業者として知られる。
 - 19) 北海道帝国大学『創基五十周年記念祝典報告』（1928年）。
 - 20) 『北海道大学所属国有財産沿革 医学部・附属病院・納骨堂・登別分院 十二冊の内其四』。
 - 21) 『北大理学部五十年史』（1980年）所載の太秦泰光の回想文。
 - 22) 北海道大学大学文書館所蔵『昭和二年度 予算 経理係』、1928年4月16日「理学部創設費繰越ニ関スル件」。
 - 23) 北海道大学大学文書館所蔵。1929年3月23日「理学部創設費翌年度へ繰越ノ件」。
 - 24) 1928年11月5日付『北海道帝国大学新聞』。
 - 25) 北海道大学大学文書館所蔵。1929年3月4日「伝染病室新営費繰越ノ件」。
 - 26) 1929年10月21日付『北海道帝国大学新聞』。
 - 27) 厚岸臨海実験所の設計経緯については、西村公宏ほか「北海道帝国大学理学部附属臨海実験所水族室及び標本室の公開について」（『日本建築学会計画系論文集』、第594号、pp.199-206、2005年）に詳しい。
 - 28) 北海道大学大学文書館所蔵『昭和五年度 予算 会計課』、1930年4月18日「理学部創設費並医院建物新営費繰越」。
 - 29) 注28) に同じ。
 - 30) 1930年12月1日付『北海道帝国大学新聞』。
 - 31) 北海道大学大学文書館所蔵『昭和五年度 予算 会計課』、1930年11月29日「体育設備費ニ関スル通牒（営繕課長）」。
 - 32) 『写真集北大125年』（2001年）。

（いけがみ しげやす／北海道大学大学院工学研究院助教）